

講演会のご案内

謹啓 時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび「第2回 中川久定記念基金 記念講演会」を開催いたします。

- ・ 開催日時 5月16日(土曜日) 午後3時～
- ・ 場 所 竹田城下町交流プラザ 多目的ホール

今回は、中川久定記念由学館賞受賞者及び出版助成対象者の2名の方に講演をしていただきます。

○中川久定記念由学館賞受賞者

講 師 海原 亮 氏 (住友史料館 副館長)

タイトル「近世藩医の学問と医療環境」

—豊後岡藩の医学教育をめぐって—

公儀＝幕府が医療の問題に役割を果たさないなか、医学の発展を主導したのは藩医身分だった。この講演では、彼らの生業の特質、学問獲得の過程と社会への普及の様相を紹介します。さらに、竹田、豊後岡藩の医療状況に関しては参照すべき貴重な先行研究があるので、それに学びつつ、近世竹田の医学教育・医療環境についても考察します。

○中川久定記念基金出版助成対象者

講 師 郭 馳洋 氏 (東京大学 非常勤講師)

タイトル「日本と東アジアから『批評』を問い直す」

著書『思想としての批評——明治期東アジア哲学における展開』は、近代日本において成立した「批評」という概念に着目し、明治中後期の日本および同時代中国の哲学者たちが、宗教・道徳・言語・国家をめぐる問題にいかに向き合ったのかを紹介した思想史研究です。「批評」という問題が近代思想史の枠内に止まらず、近世の思想・学問とも深く連関しているという点に着目し、研究の進展によって見えてきた近世と近代との連続性と断絶について考察します。

貴重なお話を聴くことができる機会ですので、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

お申込先: hmhpr056@oct-net.ne.jp

お問合せ: 一般財団法人中川久定記念基金 事務局

TEL.0974-63-3879